



学校だより

最終号

壱岐南

令和4年3月22日

福岡市立壱岐南小学校
校長 富澤 一史

卒業式

3月17日(木)

高学年として2年間をコロナ禍の中で過ごしてきた6年生。自然教室が中止になり、修学旅行が2度も延期され、学校生活では給食時間に友達と話すこともできず、ずっと我慢してきました。



そんな中でも最高学年という強い自覚の中で迎えた運動会、

学習発表会での雄姿には感動し、心から称賛の拍手を送りました。どんなに厳しい状況下でも、仲間とともに前を向くことを学んだ101名の卒業生の前途は明るい、と確信した卒業式でした。

職員異動のお知らせ

職員の人事異動が発令されましたのでお知らせいたします。明後日(24日)に離任式を行います。なお、異動先については4月1日(金)の新聞発表までは公表できないことになっておりますので、ご了承ください。

【退任】

校長 富澤 一史

【離任】

教諭 服部 隆一

教諭 竹下 恭子

教諭 竹中 隼也

教諭 森田 智郁

教諭 工藤 奈央

教諭 山田 浩文

事務 本山 麻利子

非常勤調理業務員 古川 早苗

非常勤調理業務員 佐藤 由美子

令和4年度の始業日は、4月7日（木）です。



3年間大変お世話になりました

3年前の4月に赴任した時の壱岐南小学校の最初の印象は、「花に囲まれた明るい学校だな」というものでした。その印象通り「明るく素直な子どもたち」、「学校に協力的な保護者や地域の皆様」とともに過ごした3年間は大変幸せな日々でした。コロナ禍で思うように学校運営ができなかったり、保護者や地域の皆様と交流する機会が少なくなったりしたことは残念でしたが、限られた条件の中で何ができるのか、模索した最後の2年間でした。

コロナ禍の中で私が改めて思ったことは、「学校は、子どものためにある」ということでした。コロナウイルス感染防止だけを考えたなら何もなければいいのですが、成長期の子どもたちにとって、仲間とともに経験する「運動会」や「学習発表会」、「自然教室」や「修学旅行」のもつ意味は大きいと思います。ぎりぎりの状況の中でついてきてくれた職員、理解を示していただいた保護者や地域の皆様に改めて深く感謝いたします。ありがとうございました。

（校長 富澤 一史）